

柳営日記記

寛文十二^{壬子}年

七月

朔日

辰下刻御黒書院 出御如例御一門方 御對顔御白書院

出御例之通諸大名 御目見 御刀 能勢撰津守

下野烏山^江御暇

金三枚^{ツツ}

信州飯田御暇

上同斷

同斷御暇

(金三枚)

(時服二)

(金二枚)

(時服二)

右御目見已後被下之過^而 御襖障子明之御次之間伺公之面

々一同御目見畢入御

守被傳之

御暇時^々く十

御暇時^々く十

御暇時^々く十

御暇時^々く十

御暇時^々く十

御暇時^々く十

御暇時^々く十

御暇時^々く十

御暇時^々く十

御暇時^々く十

御暇時^々く十

御暇時^々く十

御暇時^々く十

御暇時^々く十

堀 美作守

右 召之於山吹之間所替之御書出頂戴之老中被仰渡之

銀十枚

時服二

右信州飯田殘地御預^{ケニ}付御暇被下之

奥平大膳亮

右二三日腫物相煩昨二日死年三十八

萬年佐左衛門日光^江盆中 上使被仰付之

四日

評定所式日寄合内膳正出座

上使内藤上野介

左馬頭殿

右馬頭殿

右明日御能見物可在之旨被仰遣之

明日御能依被 仰付雁之間芙蓉之間菊之間伺公之面々見

物可仕由也

松平新太郎

母儀

内儀

内儀

内儀

内儀

内儀

内儀

内儀

内儀

内儀

内儀

内儀

内儀

内儀

内儀

内儀

内儀

内儀

内儀

髭やくら 弥右衛門

右御能三番過御中入所々^ニ 御饗應有之

六日

如例年鯖代差上候面々

黄金老枚^{ツツ}

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

尾張殿

紀伊殿

水戸殿

松平越後守

松平讚岐守

松平加賀守

松平越前守

松平相模守

松平彈正大弼

松平出羽守

松平但馬守

松平飛騨守

松平兵部太輔

松平淡路守

松平左京大夫

松平大和守

尾張殿

紀伊殿

水戸殿

松平越後守

松平加賀守

松平越前守

松平伊豫守

藤堂和泉守

水戸殿

松平陸奥守

松平陸奥守

松平陸奥守

松平陸奥守

松平陸奥守

松平陸奥守

松平陸奥守

松平陸奥守

松平陸奥守

松平陸奥守

松平陸奥守

右之面々々為鯖代進上之於柳之間使者謁老中退去

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

右之面々々為七夕之御祝儀

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

右之面々々為七夕之御祝儀

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

右之面々々為七夕之御祝儀

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

右之面々々為七夕之御祝儀

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

右之面々々為七夕之御祝儀

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

右從弟之差合
高木伊勢守

御刀 酒井登岐守 御香 三枝對馬守
豫參 掃部頭雅榮頭美濃守大和守但馬守內膳正 讓岐守豫參
紀黃門水宰相尾中將陪拜日門御出迎
供奉能登守備中守松平民部少輔石川美作守

萬年佐左衛門日光掃 御目見

廿一日
淺野内匠頭

右氣色大切^二付^一井上玄微^微葉依改以奉書被仰付之
於評定所式日寄合土屋但馬守

出雲守子
嶋田十兵衛
山田十右衛門

廿三日
右兩人中與御番衆^二被^一仰付之
午後刻二丸^江 渡御未刻於御櫓水泳 上覽之^{奥三人}小十人組
御徒之輩水鍛練之族勤之

已下刻御黒書院 出御

板倉内膳正
齋藤久右衛門
小尾十郎左衛門
小野傳三郎
難波田權六

時服式羽折ッ

南部大膳太夫

右 御臺様^江進上之

銀十枚
同五枚
箱香
綿式百把
銀百枚
御馬三疋
黒髪五疋
黒髪三疋

右雖為參勤病氣^二付^一家老奥瀬治大夫を以進上之於檜之

間謁老中

廿日也 日光掃
右盆之為 御名代日光^江被遣之掃參^二付^一御目見
御持弓頭 内藤甚之光跡江
御歩行頭 駒木根兵右衛門跡江

萬年佐左衛門
宮城監物
内藤新五郎

右於御黒書院 御直^二被^一仰出之
大坂^{ハツ}御金宰領^二罷下^ル

時服式^{ハツ}羽折
大御番四人

右被下之

松平周防守
酒井勲負佐
龜井伊豫守
溝口備後守

一色次郎兵衛水井勘兵衛へ如在來御役料被下旨
御暇時^{ハツ}御暇時^{ハツ}西尾隱岐守
御暇時^{ハツ}御暇時^{ハツ}宮崎若狭守

御暇金武枚 御代官 鈴木三郎九郎
時^{ハツ}時^{ハツ}長谷川久兵衛
時^{ハツ}時^{ハツ}大柴六兵衛

廿四日
辰后刻紅葉山 御佛參御供如例

御刀 内藤上野介 御香 能勢撰津守
豫參 掃部頭讓岐守雅榮頭美濃守大和守但馬守內膳正
御先立 掃部頭

紀黃門水宰相尾中將陪拜 方丈拜迎
供奉 土井能登守堀田備中守松平因幡守

廿五日 無事

右今日死去

淺野内匠頭

廿六日 無事

廿七日 時服五

西本願寺

右八朔為御祝儀進上之

已下刻西丸^江 渡御於山里御馬 上覽御膳被 召上未下
還御 御暇銀十枚 申樂 一 双八郎右衛門
時^{ハツ}時^{ハツ}清水助九郎

廿八日

已刻御黒書院^江 出御如例御一門方 御對顔 御白書院
出御如例月諸大名 御目見

初御札

御勝手^{ハツ} 御伊豫家老 對馬守兼子 水野縫殿

加藤平内
細井金五郎

右御目見畢 間之御襖障子明之御次之間伺公之面々並居
一同 御目見

御暇時^{ハツ} 南部信濃守 富士大宮司
御太刀目録 一条内大臣殿使者 三島明神々主
任辨禮 玉繩 本山先達
東本寺御寄附御札 身延 真宗寺
二東一卷 後住御札 池上 久遠寺
東卷 本門寺
東本 大野 本遠寺

時^{ハツ}時^{ハツ}紀伊殿家老對馬守兼子 智哲
時^{ハツ}時^{ハツ}一条内大臣殿 使者 門入

廿九日 時服式 羽織
同 輪樂美濃守家老 青木友右衛門
同 飯沼仁右衛門

右兩人伊豆三嶋明神修覆被仰付下奉行出来^二付^一被下之
小普請北条右近大夫組 多田新五郎
小十八組へ 館林殿家老 戸田七内

右入番被 仰付之

右跡目世倅喜六^正被下之

堀田備中守

右少々持病氣^二付^一登城無之

禁裏へ初菱喰御進獻宿次

柳營日記記

寛文十二^{壬子}年

八月

朔日

御刀 欠
辰下刻御黒書院^江 出御上段^ニ 御着座

左馬頭殿

右馬頭殿

右 御對顔御白書院^江 出御

紀伊殿

水戸殿

水戸少將殿

右 御對面酒井河内守披露之

尾張殿在^在付^付 各代 成瀬隼人正

右進上之其外御礼之面々如例年

二日 無事

三日

今日御誕生日^ニ付^而 高家衆 御詰衆 雁之間 芙蓉之間
間伺公之面々御番衆其外殿中^ニ相詰候面々雁之間芙蓉之間
間菊之間並居御祝之御餅酒熨斗等頂戴

右帰国^ニ付御礼として伊知地左衛門を以て進上之於檜

之間謁老中退去也

法皇本院へ初菱喰御進献宿次

四日

於評定所式日之寄合久世大和守出座也

五日

已后刻西丸^江 渡御

長崎奉行^江被遣之御黒印御朱印^并下知之状写

松平主殿頭

大久保出羽守

松平主殿頭

大久保出羽守

松平主殿頭

右於御黒書院土屋但馬守被相渡之

二千石

右願之通隱居被 仰付家督同姓新三郎^江被下之

右願之通隱居被 仰付家督同名養子小十郎^江被下之

右但馬守被仰渡之

櫻井庄之助

右日光山 御宮御普請依有之為見分可被遣之間支度可仕

之旨土屋但馬守被仰渡候

御暇時ふく武^ッ 奈良惣代 大膳院 関口庄左衛門

御暇時ふく武^ッ 奈良惣代 関口庄左衛門

六日

午刻御黒書院^江 出御

大坂加番帰之御礼

鳥居兵部少輔

大関信濃守

保科越前守

但小笠原土佐守^八直^三在所^江御暇^ニ付御礼無之

大坂在番帰御礼

中根日向守

戸田相模守

両組頭八人

大坂御目付代り

三好備前守

但高林弥市郎^八差合登 城無之

駿府御目付

石尾七兵衛

御目見過^而 入御之刻於山吹之間大坂帰大番衆並居

一同 御目見則 入御也

織田豊前守

右跡式息主殿^江無相違被 仰付之旨老中被仰渡之

松平主殿頭

大久保出羽守

大久保出羽守

大久保出羽守

仰渡之

昨日西丸於山里御馬 上覽御膳被召上申后刻 還御

近藤勘右衛門組鉄炮見分日根野権十郎

奥州へ御馬買御用被仰付

秋山六左衛門 門奈助左衛門

御暇時ふく五羽折^ッ 井上相模守

稲垣信濃守

土井大炊頭 安藤對馬守 松平備前守

松平和泉守 西郷若狭守 土屋民部少輔

秋元撰津守 阿部伊豫守 板倉伊豫守

堀 飛騨守

酒井日向守 松平山城守 増山兵部少輔

三浦志摩守 那須遠江守 内田出羽守

土井信濃守 土井周防守 伊丹大隅守

山口修理亮

半年代 箱者

紅葉山 御宮火之番

増山兵部少輔

三浦志摩守

右被仰付之是は秋元撰津守板倉伊豫守在所^江御暇^ニ付^而

為代也

同處 御同殿火之番

森川出羽守

右被 仰付之是、土屋民部少御暇^ニ付^而為代也右之面々

以奉書被仰渡候

奥 松平助之進組之鉄炮見分市園五左衛門

八日

駿州草薙大明神之社人集人儀諸事不届付^而社領之十里四方追放被仰付

之然ハ集人子主水十四才^ニ成候此者社職相勤庄大夫取立候様可申付旨松

平左近大夫天方主馬長田六左衛門方へ一昨六日達之

九日

御手自御羽折被下之

久世大和守

右は日光山^江御用之儀依有之被遣之於御座之間 御直^ニ
御暇被下之

禁裏へ初鶴御進獻之

新院女院へ菱喰御進獻

禁裏へ打枝鏡子提大高櫃紙被遣之^奥

近藤彦九郎組鉄炮見分小出甚左衛門^{羽折}

十日

安藤彦四郎組鉄炮見分大岡五郎右衛門^奥

十一日

久世大和守

右は昨日日光^江發足

秋山六左衛門

門奈助左衛門

右奥州^江御馬買可被遣之支度可仕之旨去^ル六日老中被仰

渡之

御暇時ふく式羽折^{御代官}
設業源右衛門
佐野平兵衛

十二日

於評定所式日之寄合板倉内膳正出座也

戸田相模守

中根日向守

右両組招 殿中於御白書院善悪之御改在之

櫻井庄之助^并大工片山源右衛門へ傳馬 御朱印被下之

源右衛門へ銀十枚被下之

十三日

法皇 本院 以宿次初鶴御進獻也

十四日

上使千本兵左衛門
保科筑前守

右參勤^ニ付被遣之

十五日

已后刻御黒書院 出御如何例御一門方 御對顔御白書院^江

出御例月之通諸大名御礼

駿府加番御暇

内田出羽守

大久保主膳

小出瀨兵衛

大久保大膳

中将殿 御目見之御 尾張殿
御尋之御礼 使者
銀馬代

右御目見畢^而御勝手^も

駿府在番御暇

町野老岐守

稲葉庄右衛門

神尾若狭守

大久保次郎兵衛
御書院番

銀十枚宛

右之通被下之 御目見過^而

入御也

山吹之間一同 御目見之面々
半左衛門子

銀馬代

鳥目百疋^ツ

伴共十一人

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

進物 京番掃

吉川惟足

西本願寺

保科筑前守

松平市正

朽木伊豫守

本多彈正忠

松平對馬守

石丸石見守

伊奈十左衛門惣領甚太郎下條兵衛惣領長五郎雖被 召出之頃付不能出

十六日

尾貴門使者
濱嶋宇右衛門

富嶋頼母

水野對馬守

十七日

紅葉山 御名代 土屋但馬守
紀伊中納言殿使者

創業記考異書冊

右之通書物被差上之

松平因幡守

右は息死去^ニ付登 城無之

十八日

御召御羽織一

前出

久世大和守

右は去^ル九日日光山^江御暇之節御手自被下之

新院 女院へ初鶴御進獻宿次

奥 弓削田忠右衛門組鉄炮見分日根野権十郎

十九日

大坂御目付御暇

高林弥市郎

右は先日差合^ニ付^而今日被下之

廿日

上野 御名代 稲葉美濃守

神原熊之助

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

御書院番

廿一日

右は當月十九日之暮召仕之若党と中間致口論中間を切殺

若党は部屋江引込候時十郎左衛門開付追出出候所二若党

立掃切合十郎左衛門相討若党は其俣死す十郎左衛門手前二

有之浪人手負死去十郎左衛門は今朝相果候十郎左衛門は

数馬子息之由也

甲 府 殿

右は御袋様方之輕キ從弟御差合之由

京都ノ稻荷山之松茸到来

兩山ノ御進献之

奥坂部三十郎組鉄炮見分大岡五郎右衛門

廿二日

於評定所式日寄合稲葉美濃守出座

土浦三御殿 土屋相模守

右二付去十九日同姓但馬守江被仰渡之由

奥中山勘解由組鉄炮見分彦坂伊兵衛

廿三日

午后刻西丸江渡御道筋竹橋ノ枇町松平越後守下被

為成外櫻田御門ノ西丸江被為 入御供如何

松平因幡守

右之忌 御免二付画今日ノ登 城

一 西丸於山里御馬 上覽御膳被 召上申下刻 還御

奥水野越中守組新庄長門守組戸田備後守組御番士三御馬方

廿四日

増上寺 御名代 板倉内膳正

女院様被為附

右は此度就上京諸大夫被 仰付之

久保平左衛門

廿五日 無事

廿六日 無事

久世大和守

右は今晩閑宿ノ被帰候由

奥坪田惣兵衛組鉄炮見分岡部左近

廿七日

御座之間

箱者一種

右 御目見献上之

御臺様江も右同断進上之

日光婦

右は登 城謁老中退去

御茶 奥菓子

右被遣之二付為御礼同姓播磨守登 城也

御菓子 奥菓子

廿八日

已刻御黒書院江出御一門方御對顔御白書院江出御

例月之通諸大名 御目見

御暇時ノ武十

箱者 病後 御馬被下

酒井修理大夫

南部大膳大夫

保科越前守

松平志摩守

梅原七郎左衛門

御暇時ノ武

松平市右衛門

右は去廿六日死去水野隼人正從弟也

奥真田内藏助組鉄炮見分森川小左衛門

晦日 無事

西丸 御成御延引

奥幸若舞御覽

柳當日次記

寛文十二壬年

九月

朔日

已刻御黒書院江出御如例御一門方 御對顔御白書院

出御例月之通諸大名御礼

日光御暇

櫻井庄之助

佐竹右京大夫

右は息女一昨日死去也

銀十枚

銀二十枚

昨日相渡之

右は無隱依死去看病相勤申付画被下之戸田伊賀守請取之

箱一病後 石川主殿正

湯治婦 一柳但馬守

東本 東海寺輪番 參府 一濱

禁裏ノ御鷹之鶴御進献宿次

二日 無事

奥依田内藏助真田喜左衛門組鉄炮見分日根野權十郎

三日

女院様ノ為重陽御祝儀

右は御祈禱之御礼并御小袖差上之

奥新庄惣兵衛本多佐大夫組鉄炮見分彦坂源兵衛

四日

於評定所式日寄合土屋但馬守出座也

去月晦日及暮於御座之間舞被仰付之

十番切 幸若弥次郎 濱出 同 次郎右衛門

奥設案甚三郎柴田三左衛門組鉄炮見分嶋田藤十郎

五日

今朝老万石以上之諸大名衆々如例年為重陽之御祝儀御小袖進上之御一門方二於柳之間謁稲葉美濃守使者退去其

外諸大名與服は大廣間御縁通り二本多長門守家來請取之

御臺様 五万石以上二如例年為吳服代白銀進上之板倉市

正請取納之

柳生飛驒守

同 大膳

右御座之間江被為 召御兵法在之

奥 蜂屋半之丞菅沼藤十郎組鉄炮見分石谷郷衛門

六日

御座之間

甲斐庄喜右衛門

右之通被成下御勘定頭被 仰付之

奥 大河内善兵衛安藤九郎左衛門組鉄炮見分市岡五左衛門

七日

溝口出雲守

右願之通隱居被 仰付之領知五万石不残息信濃守江被下之旨招 殿中老中出座被仰付之出雲守は煩二付登城無之

戸田伊賀守

大久保右京亮

徳山五兵衛

是又奉行被 仰付 本多長門守

右三人來極月上野二

實珠院様御遠忌二付 御法事有之奉行被 仰付之

御役替

名取三郎左衛門

戸張源五左衛門

山本道辰

右老中被 仰付之

奥 夏目左衛門久永源兵衛組鉄炮見分福垣清右衛門

奥 當十二月宝樹院様御法事二付掛り被仰付戸田伊賀守本多長門守大久保

右京亮徳山五兵衛

八日

奥 松平豊前守岡部内被守組御番上

午後刻西丸江 渡御於山里御馬

上刻還御

當月日光江御名代被 仰付之

織田主計頭

永井市正

右之通被 仰付之

御勘定組頭十式人之面々江 百俵宛被下之旨老中被 仰付之

上野二來極月御法事二付所々御番被 仰付之面々

上野黒門

同 本堂

右之通老中被 仰渡之

設楽七左衛門 竹村八郎兵衛 平野次郎左衛門 石原新左衛門

能勢庄三郎 能勢武左衛門 櫻井藤兵衛 大柴清右衛門

岩出平左衛門 武藤庄右衛門 青木喜左衛門 細井善右衛門

九日

已后刻御黒書院江 出御

甲府宰相殿

館林宰相殿

右御對顔畢 御白書院江 出御

紀伊中納言

水戸宰相殿

尾張中將殿

水戸少將殿

右御對顔其外所々御礼如例年

湯治

松平伯耆守

丹羽左京大夫

京極伊勢守

水野民部

右登 城無之

於上野 實珠院様當極月廿一回忌二付 御法事依被 仰

十日

無事

右は相談御用可承之旨昨日被 仰渡之

戸田伊賀守

奥 落合源之丞岡野内藏允組鉄炮見分川口源左衛門

十一日

秋山六左衛門

門奈助左衛門

右兩人奥州江 御馬買依被遣之御暇也

奥 諏訪勤兵衛三枝平右衛門組鉄炮見分宮城助右衛門

十二日

於評定所式日寄合久世大和守出座

日光山江 御暇

織田主計頭

永井市正

右於 御座之間 御目見 御暇被下之 御宮江 御馬代金

老枚 日門二荷三種被遣之右兩人請取持參也

御暇銀五枚 日野藤兵衛

三宅弥次兵衛井戸三十郎組鉄炮見分小出甚左衛門

十三日

午刻御黒書院江 出御參勤之御礼在之

金五枚 豊前守惣領

時服三 織田主殿

右是八病氣故登 城無之進物計 御前江 出ル

金三枚 藤目御礼 久左衛門惣領

銀馬代 初御礼 孫兵衛惣領

同 小平次惣領 布施新次郎

鳥目百疋 六左衛門二男 酒井主税

鳥目百疋 長田左兵衛

初御礼之面々

小左衛門惣領 石野助左衛門

小左衛門惣領 神尾善次郎

甚五左衛門惣領 鈴木牛之助

二左衛門子 松平兵助

七日出

市郎右衛門惣領
大河内十太夫
内藏允惣領
久志本權七郎
同人次男
久志本七十郎
古庵惣領
與語守三
七兵衛惣領
山田新兵衛
伯元惣領
坂井伯立

一 東一本
右 御目見畢 入御也

右は為遺物献上之也

御臺様 江

銀五枚

同

色箱種五卷

銀五枚

右は献上之

奥 諏訪左門組鉄炮見分森川小左衛門

初御目見

鳥目百疋

石谷土入

右は昨晚死去之由也

(銀馬代 參勤)

岡部内膳正

銀馬代

箱香

西尾主水

御暇時くく式十御馬

石川主殿頭

本多越前守

松平佐渡守

五羽折

法皇本院へ御鷹之鶴御進献之

十四日

法皇様去 九日ハ御異例ニ付ニ為 上使上杉伊勢守京都

江 被遣之明日發足之由

田付四郎兵衛組鉄炮見分岡部右近

十五日

已下刻御黒書院 出御如例御一門方 御對顔過ニ京都

御暇

金拾枚 法皇御儀ハ付

時服三

羽折

右 御目見已後被下之

御白書院 出御如例月諸大名御礼在之

一官香 十包 一香餅香 五香合青貝

一細布 十疋 一綾芭蕉布 十反

一泡盛酒 三壺

右は琉球人去年帰國ニ付 中山王より為御礼以使者薩摩

迄差上候依之松平大隅守より使者市来八左衛門持參進上

之本多長門守請取之

金馬代 參勤 牧野佐渡守 東本奥方御寄御禮

總百把 松平兵部大輔 參府 松前八左衛門

金馬代 奉書紙五箱 高野山字信方 大坂瓦師

東卷 悉地院 進物 紹真

行人方 龍生院 御暇時服式 宝亀院

十六日

井上左大夫組鉄炮見分彦坂源兵衛

十七日

辰下刻紅葉山 江

御社參御供如例

御先立 掃部頭 御刀 酒井老岐守 御香 神尾播磨守

紀黄門 水宰相 尾中将陪拜

松平讃岐守雅楽頭美濃守大和守但馬守内膳正豫參知樂院拜迎

御供能登守備中守筑後守美作守

奥 昨日石川美作守乗物御免

十八日 無事

縣府加番代り

内田出羽守

大久保主膳

小出瀬兵衛

十九日

右は昨日參勤ニ付 上使被遣之

水戸殿

右姪子之御差合松平播磨守息女昨夜死去

奥 御臺様 江 御伽羅一木被遣之

廿日

辰下刻紅葉山 御參詣御供如例

日光婦

右於 御座之間 御目見

御祐筆

織田主計頭

永井市正

杉浦半左衛門

飯高七兵衛

右御祐筆ニ可被 召出之旨去ル 十八日老中被仰渡之

御刀 内藤上野介 御香 三枝對馬守

豫參老中 御供能登守備中守

陪拜 紀黄門尾中将

廿一日 無事

日光御祭礼ハ役十七日ハ相勤

掃部

右於 御座之間 御目見

奥 渡部半三郎組弓見分人關

永井市正

廿二日

於評定所式日寄合板倉内膳正出座

法皇 江 以宿繼御伽羅老本卷物十 被献之

御鷹之鶴 新院女院へ御進献之

兼松又四郎組弓見分人關

廿三日
清泰院様十七回忌^二付^而為 上使今朝早天^二傳通院^江久
世大和守を以御香奠銀式百枚被遣之自松平加賀守法事執
行有之

御暇時^{ハク}式ツ^ハ 伊勢
春木大夫
山本大夫
内藤新五郎組弓見分人關

廿四日
辰下刻増上寺
御佛殿^江 御參詣如何

上使大次兵部大輔
日光御門跡

右下山^二付上使を以被遣ノ
殿中

御刀 稲垣市正
御供 能登守筑後守松平因幡守石川美作守
御刀 酒井老岐守 御香 能勢撰津守
御先立 掃部頭 方丈拝迎 掃部頭 讃岐守 御目見
紀黃門 水宰相 尾中將陪拜
豫參 雅楽頭大和守但馬守
奥 崇源院様御靈屋^江も 御參詣

廿五日
御座之間
箱肴

保科肥後守

右參勤^二付登^二城^二御目見献上之

上使本多土佐守
甲府殿
御鷹之鶴被遣之 内藤上野介
館林殿

奥 三宅半七郎組長谷川久三郎組弓見分人關

廿六日

辰下刻角田川邊^江為御鷹野出御御道筋大手々本町兩國橋
通御供堀田備中守板倉筑後守松平因幡守石川美作守此外
御近習之面々

御物敷 御奉^二面

真鴨一 鴻一 脇鷹^二面 黒鶴一
真雁八 白雁十八 雁金二 真鴨廿二
小鴨十七 雉^雜鴨七 鷺六 鴻老
菱喰一

右御物敷七十九^{内御奉式鴨}
中根日向守組
高木又兵衛
奥 御奉^二面 鴻喰取候御鷹居候同心^江金五兩^{ツツ}被下之

廿七日
昨夜及暮 還御付^而今朝為伺 御機嫌國持大名御譜代大
名之使者被差上之謁稲垣清右衛門
昨日中根日向守組与頭

右被仰付之旨老中被傳之内藤權右衛門跡也^{上使大次兵部太輔}
日光御門跡

右は以上使明日 御對顔可被遊之旨被 仰遣之^并御祈禱
料被遣之^奥 大久保八郎左衛門永見權七郎組弓見分彦坂源兵衛

廿八日

今日日光御門跡 御對顔^二付例月之出仕無之
已后刻御黒書院^江 出御

日光御門跡
右 御對顔^二畢^而
旦 那院
勸 理院
覚 成院

右日門御礼^二付一同罷出 御目見
家督之御礼

溝口信濃守
大坂御目付掃御礼
天野弥五右衛門
村瀬伊左衛門

出羽奥州常陸筋論所見分掃

中山茂兵衛

信濃飯田引渡掃御礼
御手洗傳左衛門
御勘定
竹村八郎兵衛
本多新五兵衛

右畢^而 入御
右隱居^二付^而献上之
溝口出雲守
奥國光御腰物
代金三十枚

御臺様^江 銀二十枚同人より
板倉石見守
荒川孫兵衛

右は先年筑後守養子被 仰付候処^二板倉内膳正嫡子^二被
仰付之旨筑後守は石見守子千次郎を養子可仕之旨被 仰
出之内膳正惣領伯耆守は病氣^二付^而也

板倉筑後守嫡子石見守儀先年筑後守養子雖被 仰付兄伯耆守病氣^二付^而
返之内膳正可立嫡子石見守子千次郎事筑後守可立家嫡旨被仰出
時々六 妹婿御禮 森美作守
銀馬代 鳥井兵部少輔
時々三 參勤 土井兵庫頭
箱肴 湯治掃 戸田日向守
御暇^{金五枚} 京都へ御暇 服部備後守
御暇^{時々二折} 同断 岡部土佐守

右去頃六郷橋修復奉行勤^二付被下之
一東一裏 京都より参上 野間三竹
銀十枚 伊奈半十郎手代 荒井孫兵衛

廿九日

先日廿六日御鷹野被為 成^二付御褒美被下面々
伊奈半十郎
間宮左衛門
小栗長右衛門

是計略日也
時服三 羽折
時服二 羽折
同 同
同 同
同 同
清水権之助

銀廿枚

銀五枚

銀十枚

銀十枚

銀十枚

銀五枚

銀五枚

右之通被下之

銀十枚

右は去^ル廿六日 御成^ニ付^ニ被^レ下^レ之

欠

右は大御番^江入御番被^レ仰付^之

奥 蜂屋七兵衛倉橋内匠頭弓見分福垣清右衛門

三十日

（口切之御茶
熨斗老箱

右之通献上之

湯治之御暇

御手目
御羽折老

右於 御前拝領之子息毛利備後守も可致同道之旨被^レ仰

出之明日發足

紀伊殿水戸殿へ以石川美作守御鷹之鶴被遣之

奥 高木喜左衛門布施孫兵衛組弓見分大岡五郎右衛門

柳宮日記記

寛文十二^壬年

十月

朔日

如例月 御目見在之

板倉内膳正嫡子被^レ仰付御礼

（金馬代
時服四
紗綾十卷

御臺様 献上之

（小袖三
羽折

右は去^ル廿六日 御成^ニ付^ニ被^レ下^レ之

屋鋪拝領之面々

（青山宿末^三
下屋敷被^下

（久保町之屋敷差上
願之地^三屋敷被^下

（中屋敷下屋敷差上
有馬中務大輔屋敷近所

（市ヶ谷下屋敷差上
下谷筋^三下屋敷被^下

（本所^三屋敷被^下

（目黒^三屋敷被^下

（望之地^三被^下

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

古筆見

了雪

治左衛門

二日 無事

三日 無事

上高輪村内有馬伊豫守屋敷前

（屋敷七百
五拾坪被^下

（本所^三屋敷
五百七拾坪

（下谷大竹十藏屋敷
三百二十坪

（神田水野伊兵衛
上り屋敷

右は去^ル朔日屋敷新規被下之

御勘定
小出主殿
大柴清右衛門
馬醫方
桑嶋半右衛門
御馬方
西川清兵衛

（本多平右衛門組御徒与頭
本多安房

（松平加賀守家来
本多安房

（御暇時ふく十

右は中野谷久兵衛跡^江被^レ仰付^之

於評定所式日寄合土屋但馬守出座

（高九万石
奥平大膳亮

（右跡式無相違養子五嶋淡路守二男小次郎^{五才}被^レ仰付^之旨

（松平下総守大久保出羽守鳥井兵部少輔坂部三十郎嶋田出

（雲守招 殿中老中列座傳達之

（御代々奉公勤筋目有之^三付願之通遺領被^下置之

六日

（板倉石見守

（右は向後御詰衆列被^レ仰付之間稲葉丹後守並^ニ御目見可

（仕之旨酒井雅楽頭被^レ仰渡^之

（大坂御蔵小上之頭平田大右衛門儀致謀書謀判付^ニ先頃被^レ行斬

（罪家財關所妻^三男子二人為^レ奴彦坂老岐守石丸石見守へ被^下之

（^{兩人} 此外大右衛門母親類等へ被^下免也

（^{町奉行}

七日

（

（

（

（

（

（

（

（

(御香) 稻葉美濃守

右在所^江參着^二付為御礼使者を以て進上之

御臺様^江も右同断進上之

佐々又兵衛

伊東刑部左衛門

右は登 城謁老中退去

當山二宿

大目付高木伊勢守大岡佐渡守御目付森川小左衛門彦坂伊兵衛

川口源左衛門 御前^江被為召

八日

京都婦

右於 御座之間 御目見

尾中將^奥上使去之番頭

尾黄門^奥以宿次御鷹之鶴被遣之

本理院御方千代姫君^奥御鷹之鶴被遣之

九日

今晚玄猪^二付及暮各登 城西后刻御白書院^江 出御玄猪之御作法在之

御刀 内藤上野介

御座之間

森川小左衛門

彦坂源兵衛

川口源左衛門

右三人 御直^二御用被 仰付之

松平駿河守

右は氣色以外^二付 井関立悦以奉書被 仰付之

水少将^奥御鷹之鶴被遣之為御礼登 城 但 上使堀田對馬守

保科肥後守^奥上使酒井壹岐守以御鷹之鶴被下之

十日

酒井河内守

右は風氣^二付 昨夜 登城無之

井伊掃部頭^奥上使本多土佐守を以御鷹之鶴被下之

十一日

已后刻御黒書院 出御湯治帰在所御暇在之

駿府在番届

和紙百束

箱肴

仙臺御目付掃御礼

佐々又兵衛

伊東刑部左衛門

森川六左衛門

武田泰庵

(金式杖 二時折服 二)

大坂御船手頭御暇

駿府在番掃御礼山吹之間並居

御書院番

伊奈甚太郎

水谷左京亮

右は常々病氣^二付 願之通来年參勤之節迄直^二在江戶可相詰之旨去^ル八日老中被 仰渡之

箱肴

御暇時ふく二十

銀百枚

時ふく六

時ふく五羽折

らうそく三箱

翻式

鞍履三

筒乱廿

御道服三

本院御條目之御黒印被下之

銀馬代

御鷹之鶴被下

十三日

御鷹之鶴被下

初^三 松平土佐守 松平阿波守 松平新太郎

藤堂大学頭

德川常陸介殿^奥御鷹之雁式被遣之 上使荒川出羽守

御暇時ふく式羽折

高木藤兵衛

十四日

右は姪之差合是は土屋民部少娘死

土屋但馬守

松平越後守 松平加賀守 松平大隅守 国元^奥御鷹之鶴被下之

十五日

已后刻御黒書院^江 出御如何例御一門方 御對顔

紀伊中納言殿

尾張中將殿

右両所鷹場^江 御暇被下畢^而御白書院 出御如何例月諸大名

御目見

時服三

時服二

同

戸田左門家来

和田七郎左衛門

岡 長右衛門

岡田与次右衛門

右は美濃國不破郡論所為見分被遣之罷帰^二付 御褒美被下之旨老中被傳之席檢之間

大村因幡守

鳥井兵部少輔

尾黄門使者

金 地 院

尾黄門使者

跡部又兵衛

跡部又兵衛

木阿弥

了 栄

八兵衛

松平安藝守

松平相模守

十二日 於評定所式日寄合久世大和守出座

十六日

御鷹之雁式ツ 松平左京大夫 松平伊豫守 松平彈正大弼 松平淡路守

丹羽左京大夫

松平伯耆守松平岩松登 城昨日相模守安藝守国元へ 御鷹之鶴被下候

御礼也

於 御前御鷹之鶴雅楽頭拜領之

十七日

紅葉山 御名代

久世大和守

板倉内膳正

右は姉差合無登 城小笠原土佐守母儀死去

十八日 無事

十九日

御両典御三人方國持大名衆廿四人 両本願寺江 重陽之御

内書出ル於處々老中被仰渡之使者時服二ツ被下之

今朝於酒井雅楽頭宅老万石以上之留守居招之御内書被相

渡之

御鉄炮頭

真田内蔵助

右願之通御役 御免之旨同役中江 老中被 仰渡之

因分平左衛門

岩本七郎右衛門

右兩人西丸御裏御門野御留守居与力不足二付与力被 仰付

之旨老中被傳之

永井伊賀守

右は七歳之息女於京都去ル十三日死去之由昨日申来依之

上意二面 老中より奉書被遣之

阿部播磨守於 御前父豊後守御尋御鷹之鶴被下之

廿日

上野 御名代

土屋但馬守

廿一日

駿府在番帰

松平驍殿頭組 御書院番

右招 殿中於御白書院老中出座善悪御改在之

御加増式百石被下之

河野三左衛門

右之通被成下白井平兵衛跡役被 仰付候老中傳達之是は

武百石御加増被下都合五百石

御鷹之雁式ツ

松平下野守 松平出雲守 松平刑部大輔 松平播磨守

織田山城守 松平薩摩守 松平伯耆守

廿二日

於評定所式日寄合土屋但馬守出座

廿三日

欠

鷹之雁二羽

右は鷹場江使者芦川甚五兵衛を以進上之

御臺様江も同雁一進上之詔老中退去也

御鷹之雁式ツ

松平下總守 森美作守 織田内記 毛利甲斐守 松平兵部大輔

立花左近将監 松平筑前守

廿四日

増上寺 御名代

久世大和守

一 今日碁将某被 仰付松平讚岐守井伊掃部頭松平美作守見

物被 仰付之登 城午刻御黒書院江 出御碁将某 上覽

即刻 入御

先置 本因坊六目勝

先置 算 哲

先置 算 哲

二番勝 道 策 十目勝

角落 宗 桂

二番勝 宗 与

右被 仰付之碁は勝負依不知土屋但馬守宅江罷越

稲葉美濃守雖湯治相應今少氣色快驗無之段達 上聞来月

上旬迄致逗留入湯可仕旨被 仰出

廿五日

土屋但馬守

右之宅二面 昨晚碁打道策八目勝之由本因坊三知勝負依不

知今日打申候由

上使久世大和守

佐竹右京大夫

同

松平右衛門佐

右は參勤二付上使被遣之

御鷹二居

上使三枝隠岐守

右鷹場江 上使を以被遣之

雁捉鷹捉

紀 伊 殿

右鷹場へ被遣之

御鷹一居 雁捉

上使大草主膳正

右登 城謁老中退去也是は紀伊中納言殿鷹場江 上使被

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

遣候御禮也

右は忌 御免^ニ付今朝^ノ登城
板倉内膳正
同 筑後守

右は母儀福生院死^ニ付上使被遣之
上使朽木伊豫守
松平新太郎

奥伊豫守^正も上意趣申渡
奥初^而
御鷹之鷹^{一ツ} 松平駿河守 松平市正 植村右衛門佐
奥初^而
井伊伯耆守

廿八日

今日参勤之御礼依在之例月之通出仕無之

已下刻御黒書院^江 出御参勤御暇之御礼在之

繼目御礼

（金三十枚 小袖十）
奥平小次郎

右は幼少^ニ付進物計 御前^ニ出

（御茶番呂宋 御刀爾宗代金二十五枚）
奥平大膳亮

右は遺物也

御臺様^江

朗詠 上下 轉注輪実重筆

右は同人遺物右之通被差上之

銀三十枚 松平右衛門佐

同式十枚 佐竹右京大夫

同断 奥平小次郎

右は 御臺様^江進上之

久世大和守

土屋但馬守

板倉内膳正

右於 御前拝領之

伊勢山田去^ル廿二日町家より出火家数五百軒余焼失

御暇 御馬 松平右京大夫

参勤 故大納言殿来正月三回忌^ニ付

銀三百枚 松平右衛門佐
猩々袴十間
羅紗十間
銀百枚

御式百把 佐竹右京大夫
御馬一疋

輪子廿卷 松平信濃守
金馬代

（綿百把 金馬代）

黒田宮内
奥平小次郎家来
奥平圖書

銀馬代^{一ツ}

庄田主計

奥平左兵衛

桑名 求

箱者

松平清三郎

廿九日

紀伊殿

右は鷹場より大崎与三左衛門被差上之是は左京大夫昨日

御暇被下候御礼使者謁老中

久世大和守

右は持病氣今日登 城無之

御暇時^{ふく二}

尾黄門使者

津田権之丞

〃 四

松平越後守使者

小栗四郎右衛門

於 御座間松平美作守酒井河内守御鷹之雁式^{一ツ} 拝領之

柳當日次記

寛文十二^壬 年

十一月

朔日

如例月諸大名出仕雖在之少々御風氣被為成御座候付^而
御保養御表^江 出御不被遊之旨出仕之面々^江 酒井雅楽頭傳
達之

三男 松平新太郎
池田主税

右願之通國元^江御暇被下之旨昨日板倉市正^江老中被仰渡

之是は於國元母儀之弔被仕候付^而也

浅草谷御藏火之番 松平兵部大輔
浅草御藏 六郷伊賀守

二日

為何 御機嫌高家衆御徒衆御奏者番^并鷹之間芙蓉之間伺
公之面々書番頭諸役人物頭登 城謁老中退去
右同断^ニ付國持大名諸大名より使者上^レ謁御目付退去弥

御機嫌克御膳を御快被 召上之間明日^日使者被差上事無用
之由使者之面々^江御目付衆被傳之

三日

為何 御機嫌御話衆諸番頭諸役人物頭登 城弥 御機
嫌克被成 御座之旨老中傳達之
稻葉美濃守
毛利備後守

四日

右は今四^ッ時分到着
於評定所式日寄合板倉内膳正出座
湯治掃 稻葉美濃守
新軍 自身之絵師^ニ申付候騎馬檢 干鯛

右於 御座之間 御目見御屏風一^双

一箱献之

松平右衛門佐へ御鷹之鶴被下之

佐竹右京大夫へ御鷹之雁式被下之

五日 無事

六日

右氣色快今日より登城

久世大和守

右は持病^ニ而無登城

欠一

先月十八日之夜小笠原遠江守領地豊前國小倉之城下^ノ出火侍屋敷町屋敷家数六拾軒焼失之由

永井伊賀守へ宿次を以御鷹之雁式被下之

七日

右到着^ニ付 上使被遣之

御暇 銀廿枚

御暇 銀十枚

時ふく式

八日

御鷹之雁式

右於 御前拝領之

松平伊信濃守へ御鷹之雁式被下之

稲葉美濃守

御鷹之雁一羽ツ

九日

御鷹之雁一

牧野佐渡守

阿部對馬守

阿部播磨守

永井右近大夫

大久保出羽守

松平齋生

水野監物

三浦志摩守

増山兵部少輔

御鷹之雁宅羽ツ

土井兵庫頭

那須遠江守

永井市正

朽木伊豫守

松平山城守

富永孫左衛門

駿河町奉行

右於 殿中拝領之老中被渡之

十日

谷之御藏

浅草御藏

右兩人火消役被 仰付之旨去^ル朝日被 仰渡之

六郷伊賀守

井戸忠左衛門

酒井日向守

戸田伊賀守

本多長門守

右於 殿中被下之老中被仰渡之

土井能登守

堀田備中守

右於 御前拝領之

十一日

已下刻御黒書院^江 出御

京都帰御礼

毘沙門堂

右 御對顔畢^而

右是は中将殿鷹場^江 以上使御鷹被遣之御礼

有賀甚六郎

右是は先日以宿繼御鷹之鶴之為御礼差上之

御役替

森川小左衛門

松平長三郎

御款砲頭

真田内藏介^江

御款砲頭

三宅弥次兵衛^江

右 御直^ニ被 仰付之

御臺様^江

右進上之

毘沙門堂

安田治部卿

今小路式部

小田助之進

秋浦大隅守

酒井七郎左衛門

武田素安

御暇金一枚時ふく式

銀五十枚

於評定所式日寄合稲葉美濃守出座

松平因幡守

右は從弟之差合登 城無之是は井上河内守娘死

並河善十郎

有賀甚六郎

御暇時ふく三ツ

十三日

右於 御前拝領之

米津出羽守

櫻井庄之助

右は一昨日日光^ノ帰府

北条右近大夫

右は昨夜五^ツ時死去

駿府在番町野老岐守組前田五左衛門病氣大切^ニ付當地へ罷越養

生仕度由願之通被 仰出

十四日

右願之通隠居被 仰付家督無相違息右近大夫被 仰付之

旨老中傳達之

榊原左衛門

右は昨夜死去之由

御目付

森川小左衛門

松平長三郎

御款砲頭

真田内藏介^江

御款砲頭

三宅弥次兵衛^江

御目見

尾張殿使者

並河善十郎

有賀甚六郎

御暇時ふく三ツ

御鷹之雁一

御前拝領之

右は一昨日日光^ノ帰府

北条右近大夫

右は昨夜五^ツ時死去

駿府在番町野老岐守組前田五左衛門病氣大切^ニ付當地へ罷越養

生仕度由願之通被 仰出

十四日

右願之通隠居被 仰付家督無相違息右近大夫被 仰付之

旨老中傳達之

榊原左衛門

右は昨夜死去之由

御目付

森川小左衛門

松平長三郎

御款砲頭

真田内藏介^江

御款砲頭

三宅弥次兵衛^江

御款砲頭

真田内藏介^江

御款砲頭

三宅弥次兵衛^江

御款砲頭

真田内藏介^江

御款砲頭

三宅弥次兵衛^江

御款砲頭

真田内藏介^江

御款砲頭

三宅弥次兵衛^江

御款砲頭

真田内藏介^江

御款砲頭

三宅弥次兵衛^江

十五日

巳后刻御黒書院 出御如何御一門方 御對顔過鷹場帰之御礼

鷹之齋^二

尾張中將殿

右 御對顔畢御白書院^江

出御諸大名 御目見 紀伊殿

右は鷹場之使者栗生源五左衛門被差越是は初雪付為伺御機嫌也使者 御目見則御暇被下之右過御勝手^ノ

泥障^二懸

牛込忠左衛門

右 御目見畢御次之間伺公之面々並居同所^ニ御礼過^ニ

米津出羽守

右下屋敷被下之旨老中被傳之

束木

高重院

御礼香包

若王子 使僧

紗綾三卷

後住御礼

勝仙院 瑞龍寺

進物

入峯付

不動院 大学院

親世大夫

佐野平兵衛

尾紀兩黄門水宰相へ例年之通葉種被下之

碁将戲之者御暇被下物如何

十六日

奥十七日也 金三枚 時服三羽折

櫻井庄之助

右是日光 御宮御破損修覆奉行被 仰付之出来^ニ付^ニ被^下

下之

御三人方

右は昨日被下之

米津出羽守

右は只今迄之屋敷上^テ毛利甲斐守虎御門之外上屋敷昨日被下之

被下之

御暇時^ノ武

瑞龍寺使者 辻織部

十七日

紅葉山 御名代

銀十枚

久世大和守 富田半之允

銀五枚

同 七左衛門

右は日光 御宮破損御修覆御用被

仰付依出来為御褒美御禮也

屋敷拝領之面々

關所物奉行

伊奈伊左衛門

御徒目付六人

諏訪文右衛門

大場源五左衛門

千種六郎左衛門

朝倉新五兵衛

菊地彦大夫

水野小右衛門

火之番三人

稻生太左衛門

柳沢治郎左衛門

佐野市右衛門

右之面々處々^ニ屋敷被下之老中被仰渡之

前出

駿府在番

町野老政守

右病氣大切^ニ付^ニ當地罷越養生可仕之旨去^ル十二日奉書被遣之

小普請

瀧川長門守

横地五郎左衛門

奥廿三年以前亂心^ニ付兄次郎左衛門^一内藏助を養子致し万事差引致候所内藏助相果預り申候^〇右令亂心^〇諸親類依無之御切米被召上之昨日松平和泉守御預^ケ之由也

御醫師衆如例年御葉種被下之

欠一

十九日

御暇時^ノ武

若王子 使僧

勝仙院

廿日

上野 御名代

稻葉美濃守

神原越中守が久能 御宮御修理造畢付^ニ去十七日 正遷宮首尾克相済之由注進之

廿一日

辰下刻千壽筋^江為御鷹狩 出御御供堀田備中守石川美作

守土岐十左衛門大岡五郎右衛門此外御近習之面々也

千壽筋が小菅迄被成 御座八^ツ時過^ニ隅田川御殿^江被為成

還御^ニも駒形堂邊御鷹狩被遊彼地より御船^ニ被遊 還御之由

御物数

御奉^ニ 真鷹 一

白鳥 一 鷺 一

脇鷹^ニ 鶴 二

鴻 式 菱喰 十六

白鳥 三十一 真鴨 十四

小鴨 八 雜鴨 九

水札 三 鷺 四

都合九十五

奥大久保出羽守惣領安藝守表向より御目見可仕旨親類共願^ニ付被仰渡

松平駿河守

右昨夜七^ツ時分死去依之松平民部少差合

寛文十二年八拾以上之歳御改

下總守事

島山市菴 安部性都

加藤傳兵衛 美作守事

中坊宗空 六左衛門守事

佐久間常閑 因幡守事

植村五郎右衛門 傳藏守事

酒井自閑 出雲守事

牧野市齋 民部少輔守事

織田一宮 島山休山

齋藤惣右衛門 八十一

内藤帶刀 八十二

加々爪半之允 八十一

榊原小右衛門 八十一

朝比奈休意 八十一

上 縫殿 八十

八十 那須玄竹
八十 佐原七藏
都合拾九人

廿二日 於評定所式日寄合 但馬守出座

鷹司大納言殿
松平讚岐守末息女

右縁組被 仰付之旨讚岐守招 殿中老中被傳之
上使酒井忠政守

右は 上使を以被遣之 御奉之簡一ツ

上使大久保山城守
水戸殿

右は以 上使被遣之

大久保出羽守惣領
安藝守

右は向後御譜代大名衆並御表を出仕御目見可仕之旨老中
被仰渡之

日門へ八代蜜柑一箱被遣之 上使由良信濃守

本理院御方千代姫君へ雁式ツッ被遣之

保科肥後守井伊掃部頭へ雁式ツッ被下之 上使遠山半左衛門

廿三日

昨日 御成^二付為伺御機嫌國持大名御譜代大名衆を使
者上^ル

昨日雪^二付為伺 御機嫌御三人方を使者上^ル老中^二謁

松平民部少

右は忌 御免今日登 城

廿四日

増上寺 御名代

土屋但馬守

昨夜五ツ時藤堂主馬組野村七郎左衛門と申仁久^二病氣にて罷
在候^二付速水喜兵衛真崎彦左衛門兩人共に組頭^并平組老

人坂本理兵衛と申仁已上三人連^二て七郎左衛門方へ見廻申

候処与風罷出喜兵衛所へ切掛り乱氣と存彦左衛門組留右

三人^二而 仕留申候喜兵衛彦左衛門は少之手負被申候之由

廿五日

於 御前御老中^江御狩之鷹御料理被下之

米津出羽守

右於 御座之間 御目見大坂^江 御暇西蓮御腰物黄金十枚
時服五羽折被下之 御腰物西蓮代金十二枚

高木伊豫守

右は孫之差合

大坂御役人之子共御番人可被仰付旨

御具足奉行
五左衛門二男
逸見小四郎
同 三男
同 内蔵介

大御番入
小十人組入
同 三男
同 内蔵介

大御番入
平左衛門二男
福王忠左衛門
同 三男
同 八右衛門

同所御藏奉行御役儀入籍^二付御褒美被下
小十人組入
同 八右衛門

金一枚時ふく武ツッ
本間十右衛門
酒井七郎左衛門
小林十右衛門
石川市右衛門
大坂五郎
浄 心

未刻於御座間雅楽頭美濃守大和守但馬守内膳正廿一日御狩之
鴨御料理被可伴^二被下之 與鈴木喜左衛門大野五郎大夫於 御前

御料理被仰付

廿六日

御座之間

本多長門守
戸田伊賀守

大久保右京亮
徳山五兵衛

右は明日を於上野御法事在之^二付 御用被 仰付之

寛文十二年八十以上之歳御改

本多彦兵衛
嶋田五郎兵衛

恒岡新左衛門
久松喜左衛門

八十二

中山道久
小池半左衛門

八十八

田中永閑

九十五

了空

八兵衛

治左衛門

御暇時ふく武ツッ

廿七日

於上野 實珠院様御法事千部御経今日が初り候

一 去^ル廿五日於 御座之間御老中^江御料理御相伴可被下之

奥廿六日也

天野五郎大夫
鈴木喜左衛門

右は御座之間^江被 召之御料理被 仰付之

八代蜜柑一箱ツッ

左馬頭殿
右馬頭殿

右以上使被遣之則為 御札御登 城

八代蜜柑一箱ツッ

本理院様
千代姫君様

右は 御奥より被遣之

御座之間

井伊掃部頭

右は願之通兄左馬助子吉十郎可致嫡子之旨 御直^二被 仰

出之

松平伊豫守

右は忌明登 城謁老中

廿八日

御法事^二付^而例月之出仕無之

一 久能 御宮出来^二付^而去^ル十七日 正遷宮首尾能相濟之由當
月廿日榊原越中守を注進

大坂御藏奉行

金巻杖^一
時服式ツッ

本間十左衛門
酒井七郎左衛門

同

小林十右衛門

石川市右衛門

右是は常々御奉公精入候^二付被下之
役人子共御番入

- 五郎左衛門次男 逸見小四郎
- 平左衛門二男 福王忠左衛門
- 五郎左衛門三男 逸見内藏介
- 平左衛門三男 福王八左衛門
- 小十人組江

右両様米津出羽守 書付を以去^ル廿五日老中被傳之

例月之諸御礼無之是從今朝於東叡山

宝樹院殿廿一回忌之御法事御執行千部讀經初^二付^一也

奉行^並人御目付一人徒頭一人組共相越

廿九日 無事

晦日

板倉筑後守

右は氣色能今日登 城

於 東叡山千部讀經今日結願也

柳宮日記記

寛文十二^{壬子}年

十二月

朔日

已下刻御黒書院^江 出御御一門方 御對顔

奥鷹之馬殿上

右は鷹場掃 御對面畢^而 御白書院^江 出御如例月諸大名

御目見

大坂金銀宰領^二罷下御礼^一

時服ニツ

右兩人御暇時服被下之 御目見

上野御法事千部讀經昨日結願之由

寶珠院様御法事^二付^一而 香典御一門方^並 御老中御詰衆並之衆

中御役人衆^レ被差上之此外は無用之由

右從弟差合森美作守幼少息死 松平阿波守

東巻 筑波^レ掃府

箱者 知行所掃

進物 走水^レ掃

御代官所掃

參上

知足院

戸田備後守

大岡次郎兵衛

天羽七右衛門

設業孫兵衛

幸若小八郎

三右衛門

寶珠院様廿一回御忌^二付^一而 御進善於東叡山先月廿七日^八

部之讀經御執行今日依為 御忌日 御參詣

已上刻上野^江 出御御供如例

時服十

銀百枚

時服十

日門 毘沙門堂^レ御菓子被献之

御盃事有之

還御以後為 上使久世大和守

日光御門跡

毘沙門堂

凌雲院

旦那院

圓覺院

觀理院

常徳院

尊重院

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

同斷

日光御門跡

毘沙門堂

凌雲院

旦那院

圓覺院

觀理院

常徳院

尊重院

田村權左衛門

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

衆僧中

右御法事^二付被下之^一

東叡山は谷中感應寺之谷^二而 非人共^二施行米式百俵被下之^一

於東叡山 還御以後御一門方^並 老中御詰衆御役人衆^レ

香奠上^ル御目付彦坂源兵衛請取之

御法事相濟^二付^一而 明日五^ツ半時諸大名登 城可在之由

御役替

御留守居

北條右近大夫跡

大御番頭

戸田備後守跡

御書院番頭

松平縫殿頭跡

御留守居

北條右近大夫跡

大御番頭

戸田備後守跡

御書院番頭

松平縫殿頭跡

御留守居

北條右近大夫跡

大御番頭

戸田備後守跡

御書院番頭

松平縫殿頭跡

御留守居

北條右近大夫跡

大御番頭

戸田備後守跡

御書院番頭

松平縫殿頭跡

御留守居

北條右近大夫跡

大御番頭

戸田備後守跡

御書院番頭

松平縫殿頭跡

御留守居

北條右近大夫跡

右之通於 御座之間被 仰付之

御供 土井能登守松平因幡守石川美作守

豫參 掃部頭雅楽頭美濃守大和守内膳正

御先立 掃部頭 御刀 内藤上野介 御香 神尾播磨守

日門 毘沙門堂押迎

毘沙門堂へ銀百枚時ふく十被遣 御盃事有之日門毘沙門堂^レ御菓子

被献之凌雲院僧正担那院僧正圓覺院親理院尊重院常徳院

御礼

次戸田伊賀守本多長門守那須遠江守増山兵部少輔大久保右京亮

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

御礼

德山五兵衛平野丹波守 御目見次
小普請奉行
石野小左衛門 松平二郎右衛門 野村彦兵衛 木部藤左衛門 竹田六郎右衛門
田村權右衛門 御目見
今日御香典献上有之別紙

御靈前 御香奠覽
銀十枚 女院御所 一銀十枚 松平越後守
同式十枚 御臺様 一同式十枚 松平加賀守
同十枚 千代姫御方 一同五枚 保科肥後守
同斷 本理院御方 一同十枚 井伊掃部頭
同式十枚 甲府宰相殿 一同五枚 酒井雅樂頭
同斷 留林宰相殿 一同十枚 保科筑前守
同三十枚 尾張中納言殿 一同式枚 阿部豊後守
同斷 紀伊中納言殿 一同三枚 稲葉美濃守
同斷 水戸宰相殿 一同斷 久世大和守
銀三枚 土屋但馬守 一同式枚 阿部播磨守
同斷 板倉内膳正 一同斷 松平齋之助
同斷 永井伊賀守 一同斷 水野監物
同斷 松平美作守 一同斷 永井右近大夫
同式枚 酒井河内守 一同斷 大久保出羽守
同三枚 牧野佐渡守 一同斷 石川主殿頭
同斷 酒井修理大夫 一同斷 安藤對馬守
同式枚 青山因幡守 一同斷 井上相模守
同三枚 土井大炊頭 一同斷 板倉隠岐守
同式枚 阿部對馬守 一同斷 青山大膳亮
同式枚 津輕越中守 一同老枚 増山兵部少輔
同老枚 土井能登守 一同斷 阿部伊豫守
同斷 堀田備中守 一同斷 秋元摂津守
同斷 酒井日向守 一同斷 松平山城守
同斷 朽木伊豫守 一同斷 那須遠江守
同斷 土井兵庫頭 一同斷 土井信濃守
同斷 太田摂津守 一同斷 土井周防守
同斷 内藤飛騨守 一同斷 蜂須賀飛騨守
同斷 永井市正 一同斷 毛利刑部少輔

一 同斷 三浦志摩守 一 同斷 米津出羽守
一 同老枚 安部丹波守 一 同老枚 高木伊勢守
一 同斷 片桐石見守 一 同斷 大岡佐渡守
一 同斷 加々爪甲斐守 一 同斷 德山五兵衛
一 同斷 平野丹波守 一 同斷 大森信濃守
一 同斷 毛利喜三郎 一 同斷 松平備前守
一 同斷 大久保右京亮 一 同斷 小笠原山城守
一 同斷 澁川長門守 一 同斷 戸田伊賀守
一 同斷 板倉市正 一 同斷 本多長門守

寶珠院様御法事首尾能相濟昨日上野 御參詣被為 遊候付^面
今日四ツ時分

三日
左馬頭殿
右馬頭殿
紀伊中納言殿
水戸宰相殿
尾張中將殿

右於 御座之間 御對顔畢^而
水戸殿

右は鷹場^江 御暇被下之旨被 仰出之
右同斷^二 付國持大名衆御譜代大名^并老万石以上諸大名登
城謁老中退去
毘沙門堂

右は昨日為御礼登 城謁老中
上野御法事中彼地^江詰候^二付御座之間^二^而 御目見の面々

戸田伊賀守
本多長門守
増山兵部少輔
那須遠江守
大久保右京亮
德山五兵衛

寶樹院様御法事^二付京大坂長崎遠國之籠舎之輩輕罪之者
赦免之旨今日被 仰出之

一 今晚及暮於 御座之間舞被 仰付之

夜討曾我 幸若弥次郎 同次郎左衛門
十番切 同 小八郎 三右衛門
那須与市 同 伊八郎 三十郎

右畢^而 小八郎三右衛門參上以後初^而 依被 仰付為御褒美
時服三小八郎同式三右衛門被下之
今日御役替有之昨日^二出

四日
於評定所式日寄合久世大和守出座^{上候}松平山城守
有馬中務大輔

右參勤^二付上使被遣之
水戸殿
右は昨日八ツ時分^江鷹場^江 発足之由

五日
阿部播磨守
右被為 召之二男七三郎三男長吉事可被 召出之旨老中
被傳之
水戸殿

右は鷹場^江 佐野四郎右衛門を以て進上之
御臺様^江も馬一進上之右兩使謁老中
鈴木淡路守

右は中風之由
於 御座間 御目見米津出羽守^共 御用被 仰付
石川内藏允

先日被 仰出大坂役人子共御番割被 仰付
逸見小四郎
福王忠左衛門
逸見内藏助
福王八右衛門

女院^並女五宮^並歳暮之御祝儀被差上之
小普請奉行
石野小左衛門
松平二郎左衛門

六日
時服ニツ
羽折
同

御代官
野村彦兵衛
竹田六郎右衛門
木部藤右衛門
谷田清三郎

時服二
羽折
御被官大工

右は上野御法事ニ付彼地江相詰候ニ付為御褒美被下之

水野周防守

肥前守

右は御法事ニ付閉門 御赦免之旨本多伯耆守江老中被仰

渡之

大御番小尾十郎左衛門小野傳三郎去頃自大坂為御金幸領罷下以後

子細有之令逼塞之処是又御赦免被仰出

七日

戸田備後守元組

右は松平縫殿頭江

松平縫殿頭元組

右は永井右衛門江

右両組招 殿中御引渡在之老中被傳之

水宰相遊獵之地へ(日次記は為 上使)上使青山丹後守を以御鷹二居(雁視)被遣之

永井伊賀守が京菜献上之則両山へ御進献之

八日

巳刻御黒書院江 出御參勤之御礼有之

掃部頭養子被仰付御礼

井伊吉十郎

御臺様へちりめん二十巻
御看一種

初御禮

播磨守次男
阿部七三郎

同入三男
阿部長吉

同
美濃守五男
稻葉大学

同
周防守次男
松平主水

婚札相済御礼

板倉伊豫守

建部内匠頭

銀馬代
花房圖書
上覽御膳被 召上西刻

還御
御臺様へ 銀二十枚
ちりめん十巻 献之
女中有差
病後
知行所掃
三州藩
青龍院

御暇 金一枚
時ふく三

青山丹後守水戸殿鷹場が掃參登 城説老

右為御礼水戸殿が松平志摩守被差越之

鍋嶋和泉守

青木伊賀守

保田若狭守

妻木彦右衛門

竹田式部卿

加藤牛之助

酒井雅楽頭

水宰相使者
布施十右衛門

夜ニ入舞被 仰付之
鳥帽子折(弥治郎 次郎右衛門)

和田酒盛
伏見常磐

跡目被 仰付之面々
右近大夫惣領
北條長吉
同 龜之助
同 榊原半兵衛
同 小野五左衛門
同 富永主税
同 菊松
同 三宅弥十郎
同 土屋甚助
同 忠左衛門
同 惣兵衛
同 安西甚太郎
同 浅井善左衛門
同 戸田右衛門
同 白井平右衛門
同 川窪平吉
同 入戸野求之介
同 中村金大夫
同 江原左平次
同 三宅新五左衛門
同 朝比奈市兵衛
同 水野権九郎
同 葉山弥五左衛門
同 内藤平大夫
同 前田六左衛門
同 小笠原内藏助
同 川野庄三郎
同 水野伊豫守
同 永宗院跡
同 柴田權兵衛妻女
同 養娘

十日

右永宗院迄菊之間

是が躰躑之間

御代官
与惣兵衛跡
守屋十郎右衛門

高三千石之内
二千五百石
五百石
式千石
六百石
高千六百石之内
千三百石
三百石
七百石
高千六百七十石之内
千七十石 内百石
高千六百七十石之内
三枝隠岐守組
北條右次郎兼弥十郎子
松平豊前守組
板倉市正組
伊沢主水正組
青山丹後守組 久太郎兼子
中丸棟梁
土屋兵部少輔組
戸田備後守組 三左衛門子
同部丹後守組 又兵衛子
三枝隠岐守組 金左衛門子
同部丹後守組 三郎右衛門子
元方御納戸
板倉市正組
八右衛門子
榑左衛門兼子
馬場
文左衛門二男
大久保右近衛平左衛門子
奥一人欠
奥一人欠
源四郎子
八郎左衛門子
水野伊豫守跡
柴田權兵衛妻女

高千六百七十石之内
千三百石
三百石
七百石
高千六百七十石之内
千七十石 内百石
高千六百七十石之内

三枝隠岐守組
北條右次郎兼弥十郎子
松平豊前守組
板倉市正組
伊沢主水正組
青山丹後守組 久太郎兼子
中丸棟梁
土屋兵部少輔組
戸田備後守組 三左衛門子
同部丹後守組 又兵衛子
三枝隠岐守組 金左衛門子
同部丹後守組 三郎右衛門子
元方御納戸
板倉市正組
八右衛門子
榑左衛門兼子
馬場
文左衛門二男
大久保右近衛平左衛門子

奥一人欠
奥一人欠
源四郎子
八郎左衛門子
水野伊豫守跡
柴田權兵衛妻女

高千六百七十石之内
千三百石
三百石
七百石
高千六百七十石之内
千七十石 内百石
高千六百七十石之内

三枝隠岐守組
北條右次郎兼弥十郎子
松平豊前守組
板倉市正組
伊沢主水正組
青山丹後守組 久太郎兼子
中丸棟梁
土屋兵部少輔組
戸田備後守組 三左衛門子
同部丹後守組 又兵衛子
三枝隠岐守組 金左衛門子
同部丹後守組 三郎右衛門子
元方御納戸
板倉市正組
八右衛門子
榑左衛門兼子
馬場
文左衛門二男
大久保右近衛平左衛門子

奥一人欠
奥一人欠
源四郎子
八郎左衛門子
水野伊豫守跡
柴田權兵衛妻女

高千六百七十石之内
千三百石
三百石
七百石
高千六百七十石之内
千七十石 内百石
高千六百七十石之内

三枝隠岐守組
北條右次郎兼弥十郎子
松平豊前守組
板倉市正組
伊沢主水正組
青山丹後守組 久太郎兼子
中丸棟梁
土屋兵部少輔組
戸田備後守組 三左衛門子
同部丹後守組 又兵衛子
三枝隠岐守組 金左衛門子
同部丹後守組 三郎右衛門子
元方御納戸
板倉市正組
八右衛門子
榑左衛門兼子
馬場
文左衛門二男
大久保右近衛平左衛門子

奥一人欠
奥一人欠
源四郎子
八郎左衛門子
水野伊豫守跡
柴田權兵衛妻女

高千六百七十石之内
千三百石
三百石
七百石
高千六百七十石之内
千七十石 内百石
高千六百七十石之内

三枝隠岐守組
北條右次郎兼弥十郎子
松平豊前守組
板倉市正組
伊沢主水正組
青山丹後守組 久太郎兼子
中丸棟梁
土屋兵部少輔組
戸田備後守組 三左衛門子
同部丹後守組 又兵衛子
三枝隠岐守組 金左衛門子
同部丹後守組 三郎右衛門子
元方御納戸
板倉市正組
八右衛門子
榑左衛門兼子
馬場
文左衛門二男
大久保右近衛平左衛門子

奥一人欠
奥一人欠
源四郎子
八郎左衛門子
水野伊豫守跡
柴田權兵衛妻女

高千六百七十石之内
千三百石
三百石
七百石
高千六百七十石之内
千七十石 内百石
高千六百七十石之内

三枝隠岐守組
北條右次郎兼弥十郎子
松平豊前守組
板倉市正組
伊沢主水正組
青山丹後守組 久太郎兼子
中丸棟梁
土屋兵部少輔組
戸田備後守組 三左衛門子
同部丹後守組 又兵衛子
三枝隠岐守組 金左衛門子
同部丹後守組 三郎右衛門子
元方御納戸
板倉市正組
八右衛門子
榑左衛門兼子
馬場
文左衛門二男
大久保右近衛平左衛門子

奥一人欠
奥一人欠
源四郎子
八郎左衛門子
水野伊豫守跡
柴田權兵衛妻女

高千六百七十石之内
千三百石
三百石
七百石
高千六百七十石之内
千七十石 内百石
高千六百七十石之内

三枝隠岐守組
北條右次郎兼弥十郎子
松平豊前守組
板倉市正組
伊沢主水正組
青山丹後守組 久太郎兼子
中丸棟梁
土屋兵部少輔組
戸田備後守組 三左衛門子
同部丹後守組 又兵衛子
三枝隠岐守組 金左衛門子
同部丹後守組 三郎右衛門子
元方御納戸
板倉市正組
八右衛門子
榑左衛門兼子
馬場
文左衛門二男
大久保右近衛平左衛門子

奥一人欠
奥一人欠
源四郎子
八郎左衛門子
水野伊豫守跡
柴田權兵衛妻女

高千六百七十石之内
千三百石
三百石
七百石
高千六百七十石之内
千七十石 内百石
高千六百七十石之内

三枝隠岐守組
北條右次郎兼弥十郎子
松平豊前守組
板倉市正組
伊沢主水正組
青山丹後守組 久太郎兼子
中丸棟梁
土屋兵部少輔組
戸田備後守組 三左衛門子
同部丹後守組 又兵衛子
三枝隠岐守組 金左衛門子
同部丹後守組 三郎右衛門子
元方御納戸
板倉市正組
八右衛門子
榑左衛門兼子
馬場
文左衛門二男
大久保右近衛平左衛門子

奥一人欠
奥一人欠
源四郎子
八郎左衛門子
水野伊豫守跡
柴田權兵衛妻女

高千六百七十石之内
千三百石
三百石
七百石
高千六百七十石之内
千七十石 内百石
高千六百七十石之内

三枝隠岐守組
北條右次郎兼弥十郎子
松平豊前守組
板倉市正組
伊沢主水正組
青山丹後守組 久太郎兼子
中丸棟梁
土屋兵部少輔組
戸田備後守組 三左衛門子
同部丹後守組 又兵衛子
三枝隠岐守組 金左衛門子
同部丹後守組 三郎右衛門子
元方御納戸
板倉市正組
八右衛門子
榑左衛門兼子
馬場
文左衛門二男
大久保右近衛平左衛門子

奥一人欠
奥一人欠
源四郎子
八郎左衛門子
水野伊豫守跡
柴田權兵衛妻女

高千六百七十石之内
千三百石
三百石
七百石
高千六百七十石之内
千七十石 内百石
高千六百七十石之内

三枝隠岐守組
北條右次郎兼弥十郎子
松平豊前守組
板倉市正組
伊沢主水正組
青山丹後守組 久太郎兼子
中丸棟梁
土屋兵部少輔組
戸田備後守組 三左衛門子
同部丹後守組 又兵衛子
三枝隠岐守組 金左衛門子
同部丹後守組 三郎右衛門子
元方御納戸
板倉市正組
八右衛門子
榑左衛門兼子
馬場
文左衛門二男
大久保右近衛平左衛門子

奥一人欠
奥一人欠
源四郎子
八郎左衛門子
水野伊豫守跡
柴田權兵衛妻女

御手鷹部清太持之助組 傳藏美子
萩原半右衛門
安間傳左衛門
同 本多千鶴門組 久兵衛實美子
中谷新助
西郷又兵衛
御醫監 清左衛門美子
御醫監 太郎右衛門美子
御醫監 兵九郎子
山口虎松
美火之番 三郎左衛門子
源左衛門美子
福井源兵衛
山室加兵衛
山室進助 市右衛門子
福田七郎左衛門
土屋惣右衛門
坂倉市五郎 平兵衛子
西丸御醫 与左衛門美子
鶴田左太郎
弓屋 藤四郎子
栗村山三郎
伊賀衆 權兵衛子
宮地助内
伊賀衆 弥左衛門美子
小幡弥次右衛門
伊賀衆 五左衛門子
鈴木市郎左衛門
市兵衛子
依田弥五兵衛

右三拾八人跡目被 仰付之旨於所々老中被傳之
水野周防守
右は閉門已後今日始登 城謁老中退去
歳暮之御小袖来 十八日差上可申旨御三人方 土屋但馬守
被仰渡之諸大名は来 十五日可被仰渡之由
十一日 無事
十二日
於評定所式日寄合稲葉美濃守
丹羽左京大夫
右病氣後初登 城謁老中退去是は去頃御鷹之馬拝領之
節病氣故今日為 御礼登 城也
保科肥後守
右氣色然と無之付 井上三徹棄腹用之由
酒井雅樂頭
右は忌 御免

十三日
今日於 殿中如例年御煤納在之於 御座之間酒井雅樂頭
役之 御奥は大久保右京亮役之
十四日
上使土屋但馬守
保科肥後守
右は病氣ニ付 上使被遣之
右馬頭殿
右は城下館林去 十一日火事出来家數三百軒余焼失
御銀三十枚時ふく三
幸若弥次郎
伊八郎
伊右衛門
二郎左衛門
次兵衛
三十郎
時ふく美ツ

十五日
已后刻御黒書院 出御如例御一門方 御對顔御對顔御白書院
出御如例月諸大名御礼
家督之御礼
青木民部
戸田右近大夫
隱居之御礼
甲斐守事 隠居
青木瑞山
尾居 戸田淡路守
奥 石尾長兵衛駿府掃
京都參府御礼
平左衛門事
久保和泉守
縁組被 仰付面々
松平下總守娘
大久保安藝守 江
黒田千之助姉
小笠原備後守 江
奥平小次郎伯母 信濃守子
由良新六郎 江

毛利日向守娘
酒井越前守 江
板倉伊豫守娘
堀 長門守 江
戸田相模守娘
片桐又四郎 江
小出大隅守娘
圖書惣領 松平主税 江
日向半兵衛娘
左京弟 竹中彦八郎 江
青木遠江守妹
庄助子 櫻井又右衛門 江
安藤彦四郎娘
齋藤万五郎 江
安藤喜兵衛娘
森川市右衛門 江
川勝主水娘
森川六之助 江
太田原山城守
仙石治右衛門

右は領内去 八日之夜城下町出火家數四十軒余焼失
右之通老中被仰渡之
右之幼少之子死
箱香 病後 丹羽左京大夫
金馬代 參勤 内藤豊前守
（らうそく三箱） 尾張殿使者 小瀬新右衛門
參勤伺 小瀬新右衛門
御禮様伺 水野宅右衛門
一種一荷 婦国御礼 松平左京大夫使者
染布五枚 參上 加藤右衛門八
御礼 濱松 小川藤左衛門
奉書紙 越前奉書紙 市大夫

十六日
女院様為歳暮御祝儀具服 御祈禱之御礼長坂新右衛門
を以て進上之則使者御暇白銀五枚被下之

十六日
女院様為歳暮御祝儀具服 御祈禱之御礼長坂新右衛門
を以て進上之則使者御暇白銀五枚被下之

一 歳暮之御祝儀御小袖来^ル十八日五ツ過^ル九ツ迄之内差上可申

旨 殿中昨日大目付衆留守居之面々^江被仰渡之

御暇時^{ふく}三

式

尾黄門使者 小瀬新右衛門 水野宅右衛門

十七日

辰下刻紅葉山 御社參御供如何

紀黄門尾中将陪拜

松平讃岐守井伊掃部頭稲葉美濃守久世大和守土屋但馬守豫參

日門御出迎

御供土并能登守堀田備中守松平民部少輔松平因幡守

御刀 酒井老岐守 御履 三枝對馬守

右は病氣御尋として被遣之

右は忌中^二付登 城無之

京都へ次飛脚保科肥後守病氣相重氣遣之^林 女院御所へ被相

達之

十八日

今朝老万石以上之諸大名衆^カ 如例為歳暮御祝儀具服以使者進上之酒井日向守請取納之

御両殿^カ進上之御呉服今朝於 御座之間披露之

御三人方^並御一門方^並進上之呉服如例年於柳之間並居使者之面々謁土屋但馬守退去

一 五万石以上之面々^カ

御臺様^江為呉服代白銀進上之板倉市正請取納之

右は今朝死去^二付^而

右^二付登 城謁老中退去

尾張中将殿 水戸少將殿

国持大名衆 御譜代大名衆

高家衆

諸衆

諸番頭

諸物頭

諸役人

御両殿

紀伊殿

右は御忌掛り候^二付登 城無之

保科肥後守卒去^二付息筑前^三 上使美濃守被遣之

十九日

右は昨日 上使被遣之是、肥後守死去^二付^而為御悔也

為伺御機嫌御三人方^カ使者被差上之謁老中退座

右同断^二付詰衆番頭諸物頭登 城謁老中

右之通以 上使被遣之

今夕節分^二付御祝御膳雅樂頭献之大奥^ハ大久保右京亮

與節分之御役河内守初勤之

廿日

昨晚及暮為伺 御機嫌老中不殘登 城即刻退去也其外諸大名諸役人等迄登 城

今日上野^江 御名代無之是、御忌中^二付^而也

廿一日

御臺様^カ御使奥^カ

保科筑前守

右之通被遣之

御暇時^{ふく}武

御暇時^{ふく}老

日光へ次飛脚是先頃彼地於坊中鹿殺之者共依科之輕重御

追放之処今度 宝樹院殿御法事^二付可赦免之旨梶左兵衛督

牧野數馬へ奉書

廿二日

於評定所式日寄合板倉内膳正出座

時服^二

御暇

尾張殿使者

鈴木九左衛門

右は寶樹院様御法事首尾能相濟^二付差越也依之被下之

廿三日

日光御門跡

右は近日登山^二付御医師久志本式部差添被遣之

石野小左衛門 松平次郎左衛門 武藏八郎右衛門 根岸長兵衛

右四人 御役 御免之旨老中被 仰渡之

金三兩ツツ 御藏衆 手代

右為御褒美被下之御藏衆^江老中被傳之

廿四日

増上寺 御名代無之

御番入

御書院 永井右衛門組^江 御小姓組 芝田和泉守組^江

右之通老中被 仰渡之

兩院^カ 御菓子御茶献上

右は為歳暮之御礼登 城謁老中

廿三日也

右は願之通御役 御免 神谷平七郎

御臺所頭

御暇銀十枚ツツ

二 膳坊 八幡 閻伽井坊

日光へ次飛脚是先頃彼地於坊中鹿殺之者共依科之輕重御

追放之処今度 宝樹院殿御法事^二付可赦免之旨梶左兵衛督

廿五日

巳下刻御黒書院^江 出御

宇右衛門子

津田内記

備前守次男

中山教馬

増上寺方丈

傳通院

国友甚右衛門

勘右衛門

七兵衛

且休

鷹場帰之御礼

水戸殿

家督之御礼

黄金式枚

隱居御礼

銀馬代

家督野御礼

一東一巻

小袖二ツ

奥府中

右兩人奥州御馬買帛參^二付為御褒美被下之

稲葉美濃守

右は従弟差合無登

城是は同姓權之助妹死之由

參勤(杉原紙三箱)

銀馬代

箱者ツ

松平和泉守

松平備前守

土屋兵部少輔

堀 飛騨守

福原淡路門

太田原半六郎

太刀目録

箱者

細井佐次右衛門

中嶋与五郎

中西圖書組

竹井三右衛門

御徒組頭へ

御徒与頭

安藤与一右衛門跡

昨日也

右昨日被 仰付之

御加増并御切米被下面々

新規

三百俵

御加増

御加増

式百俵

同

同

同

新規

二百俵

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

戸田相模守組大御番組頭

中根日向守組同断

小笠原久左衛門

高木又兵衛

中奥御小姓

嶋田十兵衛

野々山源之助

小嶋久左衛門

御祐軍

秋浦与右衛門

御納戸与頭

戸張源五右衛門

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

同断

御加増都合式百俵^二成取来十人扶持^{ハ上ル}

外科

佐藤慶南

備者

坂井伯元

御鷹匠

廿一人之内

御切米

五拾俵

御加増

式百俵

御加増

式百俵

御加増

式百俵

御加増

式百俵

御加増

式百俵

御加増

式百俵

御加増

式百俵

御加増

式百俵

御加増

式百俵

御加増

式百俵

御加増

式百俵

御加増

式百俵

御加増

式百俵

御加増

式百俵

御加増

小栗長右衛門組御鷹匠

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

真野藤右衛門

三橋弥次兵衛

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

岩田治郎左衛門

鈴木五郎兵衛

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

久保田又右衛門

關 長右衛門

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

吉本嘉右衛門

大河内加兵衛

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

五拾俵

御切米

諸大夫被 仰付面々

四品

山城守惣領
織田右近
出雲守

兵部大輔子
仙石主税

和泉守惣領
鍋嶋右京

甲斐守惣領
松平 齋

甲斐守惣領
青木民部

丹波守惣領
堀 左京

摂津守子
太田右近

志摩守子
三浦左兵衛

修理大夫次男
酒井右京

縫殿頭惣領
松平右近

伊賀守弟
永井右衛門

右十人諸大夫

三枝隨岐守次男御小姓
小出左京

御側御小姓
小笠原采女

山崎四郎左衛門

水野藤右衛門

松平長三郎

先手頭

右之通被 仰付之

布衣被 仰付面々

右三人法眼被付之

如例年御褒美被下面々

右之通老中被仰渡之

右

久保吉右衛門

宮城監物

高木忠右衛門

石尾七兵衛

設楽市左衛門

日下部權大夫

瀧江長怡

人見友元

林 春常

小出左京

右

御前拝領之

右於

如例年御褒美被下面々

右

右之通老中被仰渡之

右

右

右

右

小袖三

小袖貳

小袖三

金三枚

小袖貳

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

柳生飛彈守

柳生大膳

久保吉右衛門

秋浦半左衛門

森 新兵衛

神尾小左衛門

馬場三郎右衛門

川勝孫四郎

寛 新兵衛

鶴殿十郎右衛門

大久保兵九郎

坂本小左衛門

大河原源五左衛門

三島清左衛門

鶴殿長左衛門

横山甚右衛門

伊奈彦右衛門

坪内奎之助

野々山弥兵衛

八人

松平新太郎

右願之通屋敷替被 仰付

牛込忠左衛門

右は瓦毛町伊達兵部少輔上り屋敷被下之

松平彈正大弼

酒井雅楽頭

稲葉美濃守

板倉内膳正

久世大和守

土屋但馬守

右病氣付 上使被遣之右御礼息岩松登 城謁老中

右於 御前拝領之

松平新太郎使者

教学院使僧

豐藏坊使僧

八幡

豐藏坊使僧

豐藏坊使僧

參府

箱香

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

東本

米津周防守

板倉伊豫守

昌 陸

昌 祥

仍 春

昌 純

昌 順

平岡二郎右衛門

雨宮勘兵衛

古郷文右衛門

後藤庄三郎

幸阿弥兵衛

伊阿弥右衛門

五十嵐太兵衛

石津九兵衛

大久保平兵衛

勝屋六兵衛

柘植傳兵衛

三田二郎右衛門

服部六左衛門

松下忠兵衛

永田七郎左衛門

都筑長左衛門

三輪平左衛門

右之面々御役儀入精 付被下

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

如例年御褒美被下面々

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

右

年御褒美金銀被下之

欠

御加増

拾石

同 拾五石

同 同斷

御扶持方

同

右之通去ル廿七日被下之

欠

金十枚

右拝領之

御暇時かく式羽折

高井平右衛門

清水助九郎

大倉三郎兵衛

觀世三郎次郎

池田九郎左衛門

吉田意安法印

尾黄門使者

小笠原治部右衛門